

.....

うきたむ考古通信

.....

2015年4月号

■発行者	うきたむ考古の会
事務局	山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 内 〒992-0302 山形県東置賜郡高畠町安久津2117 電話0238-52-2585 Fax 0238-52-4665

♥自主事業「大和・飛鳥路に古墳と都城を訪ねる旅」

3月10日から12日まで2泊3日で研修旅行を行いました。詳細日程や写真を4月1日に当館ホームページに掲載しました。URL：<http://ukitamu.pupu.jp/>に新設した「うきたむ考古の会のページ」をご覧ください。考古の会のお知らせや情報をこのページにアップしますのでよろしくお願いたします。

♥平成27年度の事業が始まりました

- 1 4月1日、平成27年度事業が新たなメンバーで開始されました。平成27年3月末日で7年間お勤め頂いた秦 昭繁と当会の事務局で庶務を担当して頂いておりました福島 茜が退任いたしました。そして、4月1日から伊藤 純子、二宮 徹郎、片山 眞尊が新規に採用されて着任しました。今年も大幅な異動となりましたのでスムーズな館運営となるまでに少し時間がかかるかとは思いますが、留任した渋谷、齋藤共々よろしくお願致します。
- 2 4月25日(土)には考古の会の役員会と役員研修(長井市・白鷹町の遺跡と文化財の見学)を予定しています。
- 3 定例総会は、5月31日(日)に開催する予定です。
- 4 別添で今年度の館事業の催し物案内をお送りしますが、現在分かっている内容はおおよそつぎのとおりとなっています。

【館主催事業予定】

体 験

- 「赤ちゃんの手形を作ろう」

5月1日（金）から5日（火）まで下5日間、開催する予定です。連休の風物詩として定着した感があります。お子さん、お孫さん、親戚の方に声掛けをお願い致します。今年もまた、考古の会会員の方にもお手伝いをお願いしたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

●「勾玉・弓矢・石器をつくろう」

5月30日（土）、8月8日（土）、11月3日（日・祝）

●親子でガラス玉をつくろう

6月13日（土）、12月12日（土）

展 示

●特別テーマ展（公益財団法人山形県埋蔵文化財センターとの共催）

6月6日～8月5日。「災害と祈り展 ～十和田噴火から1100年～」

十和田噴火から1,100年たった今、遺跡にみる過去の災害の痕跡と、それに対処する人々の祈りの世界を紹介します。

遺跡例：十和田火山灰が検出された遺跡、下長橋遺跡（地鎮祭跡）、三軒屋物見台遺跡（洪水）、富山2遺跡（地すべり）など

初日の6月6日にセンター職員による展示解説を行い、開催期間中土曜日に2回のセンター職員によるギャラリートークを行います。

●「たかはた美術館」（合併60周年を記念し、高島町が所有しながらもみていただく機会が少ない美術品を町内の展示施設4館で公開します）

8月8日（土）～9月20日（日）。本館では主として掛軸などの近代絵画を展示します。

●第23回企画展

10月1日～11月30日「重要文化財水木田遺跡展」

平成237年度に重要文化財に指定された最上町水木田遺跡の指定品が本館に移管されることになり、本格的な修理事業が始まる前に公開することになりました。縄文時代中期前葉から中葉にかけての立体的な装飾のある土器や西ノ前型の土偶などを展示します。

●テーマ展

「古代中世の考古資料」V

古墳時代までの展示となっている常設展を補完する意味で、これまでどおり古墳時代、奈良・平安時代、中世の出土品を展示します。

研修会

●春の遺跡めぐり

5月24日（日）に新潟県の北部の遺跡や史跡をめぐります。詳細は決まり次第お知らせします。

●遺跡の旅20（うきたむ考古の会との共催）

6月27・28日。青森県津軽方面の遺跡や博物館、資料館などをめぐります。

●秋の遺跡巡り

10月4日（土）。山形市周辺の史跡や遺跡をめぐります。

講 座

●考古学入門講座Iを開講します。

7月の日曜日に館長講座として開講します。一般を対象とし考古学の方法や、これま

での考古学の成果を解説し、その楽しさや埋蔵文化財の保護思想の普及に触れていただきます。

入門講座Ⅰとして考古学の方法、旧石器、縄文時代の研究成果を解説します。

①7月5日(日)・・・「1 考古学とは 2 考古学の対象と範囲 3 考古学の目的」
「4 考古学の方法 5 日本考古学史」

②7月12日(日)・・・「6 日本列島最古の文化 7 後期旧石器前半期の文化」
「8 後期旧石器後半期の文化 9 細石刃文化」

③7月19日(日)・・・「11 旧石器時代の自然と人類 10 長者久保・神子柴文化」
「12 土器の出現と展開 13 縄文土器の変遷」

④7月26日(日)・・・「14 住居と集落の変遷 15 食糧の獲得・加工技術」
「16 服装と精神生活 17 交易・流通 18 人骨からみた縄文人」

※引き続き次年度に入門講座Ⅱ弥生時代・古墳時代、3年目に入門講座Ⅲ古代・中近世を開講すし、3年間で完結する予定です。

●企画展に関連する考古学セミナーは企画展開催中に開講します。

○全体テーマ『縄文時代中期前葉から中葉の遺跡と遺物』

①10月11日(日)・・・「山形県の縄文時代中期前葉から中葉の遺跡の概要」
渋谷孝雄(当館館長)

「置賜地域の縄文時代中期前葉から中葉の遺跡-台ノ上遺跡-」
菊地政信氏(日本考古学協会員)

②10月25日(日)・・・「村山地域の縄文時代中期前葉から中葉の遺跡-西海淵遺跡-」
菅原哲文氏((公財)山形県埋蔵文化財センター)

「最上地域の縄文時代中期前葉から中葉の遺跡-西ノ前遺跡-」
黒坂雅人氏((公財)山形県埋蔵文化財センター)

③11月8日(日)・・・「庄内地方の縄文時代中期前葉から中葉の遺跡-西向遺跡-」
須賀井新人氏((公財)山形県埋蔵文化財センター)

「山形県内の縄文時代中期前葉から中葉の石器」
秦 昭繁氏(考古学研究者)

●企画展講演会

11月15日(日)

講師 阿部 明彦先生 ((公財)山形県埋蔵文化財センター)

演題 『水木田遺跡にみる縄文時代中期前半の世界』

阿部明彦先生は縄文時代から古代までいろいろな時代の調査研究で有名な先生ですが、もともとは縄文時代中期の専門家として著名で昭和53年の水木田遺跡発掘調査の担当者として報告書をまとめられました。

●うきたむ学講座(うきたむ学講座実行委員会との共催)

現在のところ開催期日や講師、演題などは決まっていません。決まり次第お知らせいたします。今年も、遊学館からの補助金を申請する予定です。

●うきたむ学特別講座(長井市教育委員会、うきたむ学講座実行委員会との共催)

10月10日(土)に長井市で館外講座として岡村道雄先生をお迎えして実施する予定です。

●考古資料検討会(山形考古学会と共催)

2月7日(日)。2015年度に調査が行われた遺跡などの成果報告を行います。

東北情報館



特別展 『国持大名上杉家』

入館料 一般／620円 高校・大学生／400円 小・中学生／250円
4月18日(土)～6月21日(日) 米沢市上杉博物館 TEL: 0238-26-8001



企画展 『やまがたの凧』

入館料 一般／300円 大学生／150円 高校生以下無料
2月28日～5月10日 山形県立博物館 TEL: 023-645-1111



国史跡指定記念事業 『慈恩寺の美仏と阿弥陀仏たち』

拝観料 一般／700円 中学生以下無料
5月23日～7月20日 慈恩宗本山慈恩寺 TEL: 0237-87-4012



特別展 『国宝 吉祥天女が舞い降りた！

—奈良薬師寺 未来への祈り—

入館料 一般／1300円 高校・大学生／1000円 小・中学生／600円
4月24日～6月21日 仙台市博物館 TEL: 022-225-2557



埋蔵文化財調査資料展 『盛岡を発掘する—平成26年度調査速報—』

入館料 一般／200円 小・中学生／100円
2月7日～5月17日 盛岡市遺跡の学び館 TEL: 019-635-6600



収蔵資料展 『磐越自動車道の遺跡 —会津盆地の弥生時代—』

入館料 無料
2月7日～5月10日 福島県文化財センター白河館 まほろん
TEL: 0248-21-0700



企画展 『掌中の珠 —高円宮家コレクションの根付—』

入館料 一般／1000円 大学生／800円 高校生以下無料
4月26日～6月7日 秋田市立千秋美術館 TEL: 018-836-7860